

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男)決勝

試合日：2014/08/07
開始時刻：10:00~
会場：船橋市総合体育館
コート：Mコート
試合順：第1試合(男)決勝

Team A			Team B		
明 成	53	18 - 26 7 - 17 14 - 14 14 - 17 -	74	福岡大大濠	(福岡県)
(宮城県)					

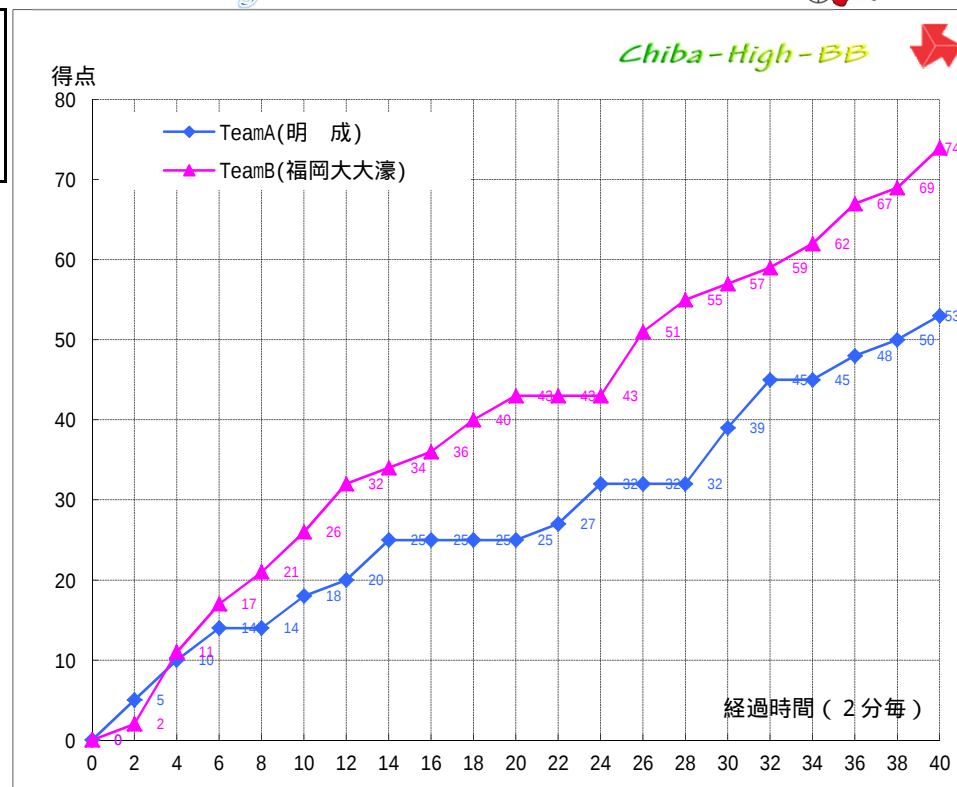
TeamA(明 成)

No	PT	選 手 名	得点	3rd イント	2nd イント	フリース-	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4		増子 優騎	8	0	3	2	0	2	6	8	4	0	2
5	-	柳瀬 亮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	庄司 勇人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		富樫 洋介	15	3	3	0	3	2	2	4	0	0	2
8	-	高橋 麟太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9		足立 翔	8	0	3	2	2	4	6	10	1	0	1
10		三上 侑希	18	4	3	0	2	1	7	8	1	0	2
11	-	江戸保 賢人	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	○	江戸保 礼央	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
13	-	伊藤 修人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		井上 駿	4	0	2	0	3	1	3	4	1	0	3
15	○	清水 翔太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	5	7			2
合 計				53	7	14	4	10	12	30	42	7	13

TeamB(福岡大大濠)

No	PT	選 手 名	得点	3rd イント	2nd イント	フリース-	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4		鳥羽 陽介	12	2	3	0	2	0	1	1	5	1	0
5	○	山口 礼継	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6		中村 太地	11	1	4	0	1	0	1	1	1	0	1
7	○	松尾 啓輔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	-	児玉 修	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9		増田 啓介	26	0	9	8	1	6	6	12	2	3	3
10	○	藤井 裕太	2	0	1	0	1	1	1	2	2	0	1
11	○	鍵富 太雅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	○	安藤 琢郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		津山 尚大	19	3	5	0	2	1	18	19	3	0	0
14	-	山内 康平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15		野口 夏来	4	0	2	0	1	2	5	7	0	3	2
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	4	8	12			0
合 計				74	6	24	8	14	40	54	13	7	8

InterHighSchool 2014 in Chiba 07M1



タイムアウト

	前半(1-2P)リフト	後半(3-4P)リフト	延 1	延 2	延 3	延 4
TeamA	18:38	-	30:54	34:58	-	-
TeamB	-	-	23:57	-	-	-

【戦評】

第67回IHの決勝まで勝ち残ったのは、ともに昨年度準決勝で涙をのんだ宮城代表の明成と福岡代表の福大大濠。明成は2名、福大大濠は1名がU-17世界選手権に召集されたため、チームの総合力が問われる試合。明成はマッチアップゾーン、福大大濠はハーフコートマンツーマンでゲーム開始。第1P、両チーム序盤から積極的に仕掛ける。明成は#4のドライブイン、#7、#10のアウトサイドシュートなどで得点すると、福大大濠も#6、#9などの得点で反撃。第2P、明成はこれまで得点源となっていた2人の不在が徐々に響いてくる。特にゴール下に君臨していた八村の不在は大きく、190cm台を多数擁する福大大濠にリバウンドをことごとく取られ、前半を18点差で終える。第3P、明成は得点力のある#10へボールを集めると一時11点差に追い上げる。しかし福大大濠はここでタイムアウトを請求し、リードを活かし落ち着いてボールを回し始める。時間を有効に使い、隙を見て福大大濠#13が得点を重ねると再び点差が開き始める。勝負の第4P、明成は逆転を目指し#7、#10などが得点を決めるが、福大大濠はシュート力の高い選手が多く、なかなか点差が縮まらない。特に福大大濠#13は体の強さを活かし、得点だけでなくリバウンドでも活躍。厳しい展開の中でもチームを鼓舞し続けた。試合は74-53で福大大濠が勝利。

9年前、今大会と同じ千葉県で開催されたIH決勝で敗れた福大大濠は見事に雪辱を晴らし、28年ぶり3回目の優勝を勝ち取った。

審判	石黒 勉 / 清水 幹治 / 佐藤 誠	戦評	久保田 伸司
----	---------------------	----	--------

千葉県高体連バスケットボール専門部